

令和7年
2025年

9月26日
金曜日

第11801号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



カナダポークが関西万博でカットデモンストレーション開催……P4~5

- ▶「和牛のふるさと山陰フェア」東京しまね和牛枝肉共励会で松永牧場が最優秀賞……P2~3
- ▶9月の米フィードロット飼養頭数は前年比1%減の1108万頭……P3
- ▶信州ハム新社長に下平匡克氏、堀川氏は会長に……P3
- ▶カナダポークが関西万博のカナダパビリオンでセミナー開催、生産団体トップらのプレゼンテーションと、カットデモンストレーション……P4~5
- ▶[JCA・8月]豚肉、鶏肉好調も牛肉、加工品の動き鈍く1.6%増……P5
- ▶クウェート向け日本産牛肉の輸出解禁—農水省……P5
- ▶【関東の輸入豚肉現物相場】Cは中部位良化、Fはスソ物に引き合い……P6
- ▶【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともに引き続きスソ物中心……P6
- ▶ビッグボーイ、3日間限定で「9月の29(肉)の日」を開催……P6
- ▶[輸入牛現物相場]品薄解消も荷動き鈍化、今後は相場上昇か……P7
- ▶【ブローラー市中現物相場】国産生鮮モモ、輸入物とも需要期向け先高観……P7
- ▶と畜場名簿④……P8
- ▶と畜場名簿⑤……P9
- ▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]25日……P10
- ▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]25日……P11

注目のヘッドライン

「和牛のふるさと山陰フェア」東京しまね和牛枝肉共励会で松永牧場が最優秀賞

島根県と鳥取県合同で行われる「和牛のふるさと山陰フェア」が25日、東京食肉市場で開催された。

…詳細はP2~3

信州ハム新社長に下平匡克氏、堀川氏は会長に

…詳細はP3

りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12
営業一課 / ☎(03)3919-2929 FAX(03)3919-2930
総務 / ☎(03)3919-2980 FAX(03)3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

「和牛のふるさと山陰フェア」 東京しまね和牛枝肉共励会で松永牧場が最優秀賞

島根県と鳥取県合同で行われる「和牛のふるさと山陰フェア」が25日、東京食肉市場で開催された。東京しまね和牛枝肉共励会では44頭が出品され、松永牧場の出品牛(枝肉重量648kg、格付A5、BMS No.12、ロース芯面積116cm²、バラの厚さ10・5cm、皮下脂肪の厚さ1・5cm、歩留まり基準値82・1)が最優秀賞に輝き、キロ当たり2950円で(株)ウスネが購買。鳥取和牛枝肉共励会では20頭が出品され、(株)山下畜産の出品牛(530kg、A5、BMSNo.12、97cm²、10・5cm、1・4cm、81・2)が最優秀賞を受賞し、キロ当たり2775円で富作商店が購買した。

共励会前夜に開催された和牛のふるさと「山陰フェア前夜祭」には、生産者をはじめ、市場関係者や卸会社、各県の関係者らが参加。さらには国会議員も駆けつけ、同フェアの開催を祝した。

冒頭、しまね和牛枝肉共励会実行委員会の松永和平委員長(上写真)は「今年度で18回目の共励会となる。最近の牛肉情勢を語ると円安による飼料高が続いている。そして、子牛の生産頭数が減少したことによる子牛高、また、あらゆる食材が値上がりしたことによって高級感のある和牛肉はなかなか売れないという話もきている。このような中、島根県にとって明るい材料がある。種牛『暁之藤』の産子が増えており、島根の畜産は伸びていくという夢をもっている。この共励会が今後20回、30回と続くようなものになるよう、生産者一丸となって頑張っていきたい」とあいさつした。

続いて、鳥取県牛肉販売協議会の小里司会長(下写真)は「鳥取和牛においては、出荷を始めてからの期間も短く、知名度もまだ低いのが、ルーツは島根に負けない本物のものをもっている。共励会では、生産者や購買者が納得いただけるよう、心から祈念する」と述べた。

その後、亀井亜紀子衆議院議員、舞立昇司参議院議員、赤澤亮正衆議院議員、東京都中央卸売市場食肉市場の渡邊勝美場長、東京食肉卸商協同組合の野本照雄理事長による祝辞、鳥取県農林水産部畜産振興局の寺坂陽一郎局長による乾杯のあいさつが行われたあと、参加者たちは懇親を深めた。会場では、「しまね和牛」のステーキ(ウチモモ)、「鳥取県

和牛オレイン55」のローストビーフ(サーロイン)などが提供された。

「和牛のふるさと山陰フェア」当日、両県の共励会の表彰式が行われた。

審査講評では、東京しまね和牛枝肉共励会で最優秀を獲得した松永牧場の枝肉について「外観は長さや広さが適度で厚く、肉付きがとても良く、前軀、中軀、後軀のバランスが非常に優れていた。皮下脂肪だけでなく、筋間脂肪も適度。肉質は、切開面の全てで筋肉の脂肪交雑に優れ、モモ、バラ、カタの脂肪交雑も極めて良好だった。肉色は明るく、光沢や締まりもあり、ロース断面もキメ細かく、何より脂肪質に優れた枝肉だった」と評価。鳥取和牛枝肉共励会で最優秀賞を受賞した山下畜産の出品牛については「外観は長さや広さが適度で、肉付きが良く、バランスが非常に優れており、部分肉歩留まりが極めて高い枝肉だった。ストレスのない環境で育てられた牛は、赤身と脂のバランスが絶妙で、モモやバラ、カタの脂肪交雑状態も極めて良好だった。肉色は明るく、光沢もあり、脂肪の質に優れていた」とたたえた。この他の入賞牛は次のとおり(枝肉重量、キロ単価、購買者)

【しまね和牛】優秀賞去勢の部 島根牧場(567kg、2825円、ミヤミート)▷雌の部 松永牧場(458kg、2918円、エスフーズ)▷優良賞1席 隠岐潮風ファーム(512kg、3212円、野本)▷同2席 松永牧場(414kg、2560円、吉澤畜産)▷同3席 松永牧場(588kg、2932円、ニイチク)▷同4席 か



つべ種畜牧場 (591kg、2802円、下山畜産)▷脂質賞去勢の部 中国牧場 (548kg、2209円、ウスネ)▷雌の部 隠岐潮風ファーム (512kg、3212円、野本)

【鳥取和牛】優秀賞 野儀弘子 (635kg、2673

円、G-7ミートテラバヤシ)、鳥飼雄太郎 (518kg、2558円、ニイチク)▷[オレイン酸特別賞 谷口畜産 (459kg、3203円、コシヅカ)

9月の米フィードロット飼養頭数は前年比1%減の1108万頭

米国農務省 (USDA) が公表した9月1日現在の牛フィードロット飼養頭数 (1千頭以上収容) は1108万頭と前月より15万8千頭増加したが、前年同月から1%減少した。カリフォルニア、テキサス、コロラド、アリゾナ、オクラホマで前年割れが続いている。州別の飼養頭数は表のとおり。

導入頭数をみると、8月は前月より18万2千頭増加して178万頭となったが、前年同月からは10%減少した。導入頭数を体重別にみると600ポンド未満が35万5千頭、600~699ポンドが26万5千頭、700~799ポンドが39万頭、800~899ポンドが42万頭、900~999ポンドが26万頭、1千ポンド以上は9万頭となった。

また、8月の出荷頭数は157万1千頭と前月

より17万8千頭減少し、前年同月からも14%減少した。これは統計を開始して以来、8月としては最低。

単位:頭数は千頭、割合はパーセント

州	2024/9/1	2025/8/1	2025/9/1	前年比(%)	前月比(%)
アリゾナ	233	222	220	94	99
カリフォルニア	520	475	475	91	100
コロラド	970	880	890	92	101
アイダホ	315	325	330	105	102
アイオワ	660	690	690	105	100
カンザス	2,280	2,270	2,350	103	104
ミネソタ	95	-	-	-	-
ネブラスカ	2,320	2,390	2,430	105	102
オクラホマ	330	310	315	95	102
サウスダコタ	185	190	195	105	103
テキサス	2,750	2,490	2,500	91	100
ワシントン	245	255	265	108	104
その他	295	425	420	142	99
米国	11,198	10,922	11,080	99	101

信州ハム新社長に下平匡克氏、堀川氏は会長に

信州ハム(株)は25日の取締役会で、下平匡克(しもだいら まさかつ=写真)取締役管理本部長を新社長とする昇格人事を発表した。堀川善弘社長は取締役会長となる。また、合わせて取締役および26日付の執行役員の異動を決定した。

下平氏は59才で長野県上伊那郡出身、法政大学法学部卒。1989年(株)八十二銀行入行後、2022年に信州ハム執行役員、23年9月に取締役管理本部長。

[25日付人事] 取締役顧問(常務取締役) 泉哲▷取締役営業本部長(執行役員営業本部長) 塚田貴則▷顧問(取締役業務本部長) 白倉常夫▷監査役 佐藤英介(新任)、林隆志(退任)

[26日付人事] 執行役員業務本部長(業務本部 執行役員商品部長) 小林稔▷執行役員管理本部長(管理本部 執行役員経営企画部長) 木下幸三

また、30日付で宮坂正晴相談役、北澤文雄顧問、古金和幸顧問は退任する。



カナダポークが関西万博のカナダパビリオンでセミナー開催 生産団体トップらのプレゼンテーションと、カットデモンストレーション

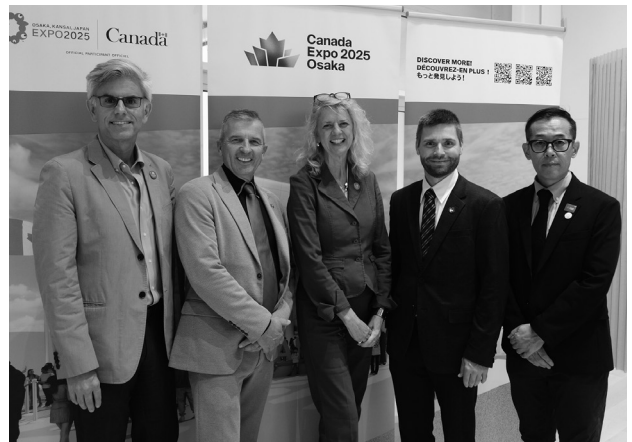
カナダ豚肉業界の輸出プロモーション機関であるカナダポークは24日、大阪市此花区夢洲の大阪・関西万博会場のカナダパビリオン内で「EXPO2025 カナダポークセミナー」を開催。食肉卸事業者、量販店関係者ら多数が参集した。セミナーでは、カナダの豚肉産業の概要およびカナダポークの優位性について紹介。また、カナダポークの部分肉を「日本式」に小割り、整形するカットデモンストレーションも行われるなど、カナダパビリオンの見学、カナダポークの料理が提供された懇親会も含め、充実した内容のイベントとなった。

セミナーの冒頭、カナダポーク日本事務所の木村憲氏マーケティングディレクターによる開会あいさつの後、カナダ政府代表でパビリオンの責任者を務めるローリー・ピーターズ館長が登壇。「カナダポークの特別なイベントに、カナダ館で皆さまをこうしてお迎えできること、一緒に高品質なカナダの豚肉を学び、楽しめることをうれしく思う。カナダ館ではこれまでも文化・イノベーション、食についてなど、カナダの魅力を幅広く発信してきた。本日のイベントもその流れを引き継ぐもの。カナダ館のテーマは”リジェネレーション＝(再生)。未来に向けて、より強く持続可能でしなやかなものを作り出すという考え方になる。それらを体験していただく最も良い方法の1つが料理だと思う。カナダ館のシェフたちによる、熟練された技で丁寧に調理される料理は、驚くほどの創造性を発揮している。今日はカナダポークの品質と多様性を際立たせるための技術と情熱を皆さんに楽しんでいただきたい」とあいさつ。

続いてカナダポークのクリス・ホワイト・プレジデント&CEOとハンス・クリステンセン会長がカナダポークの取り組みや、カナダ豚肉産業の市場動向などを解説。また、カナダポーク カウンシル(養豚生産者団体＝カナダ豚肉協議会)のリニー・ロイ会長がカナダポークの優位性、厳格な規格基準に基づく生産システムをアピールした。概要は以下のとおり。

【カナダポークの活動概要と市場動向】

カナダポークの親組織であり、1991年に設立されたカナダ食肉協議会では、生産・加工・輸出業者、



その先に至るまで一体となって推進していくことを目標に掲げ、生産者団体であるカナダ豚肉協議会も含め、各事業に取り組んでいる。

昔のカナダポークは、輸出先国が少なく、米国市場に大きく依存してきた。そのため、輸血量と金額を増やすということだけではなく、輸出先の市場を増やしていくことも重要な目標に掲げている。カナダポークが組織的に行っている活動は、国内外における市場の情報収集とプロモーションに集約される。日本と中国に事務所を構え、多くのステーキホルダーと連携し、展示会への出展や量販店・飲食店などと連携した販促イベントの実施等、国内外の市場プレゼンスを強化していくための活動を行っている。

カナダは食肉の輸出が盛んな国だが、特に豚肉は88カ国に向けて生産量の68%を輸出している。2024年度のカナダポークの輸出額は約5800億円。そのうち、日本向けは1600億円と、米国向けに続く規模を持ち、極めて重要な市場だ。また、カナダポークの対日輸血量は10年以降、着実な上昇基調であり、24年度には輸入ポークの日本国内シェアでナンバー1(24万5355t)となり、素晴らしい成功を収めている。生産者業界のメンバーたちも、今後さらに成長していくことを期待している。

【カナダポークの優位性】

カナダポークは単に味がおいしいということだけではなく、世界的にもトップレベルのサイエンスに基づいて生産されている、高品質、サステナブルな豚肉であるということも大きな特長である。カナダポーク・エクセレンス(CPE)は、豚肉生産者が主体となって作

り上げた全国的なプログラム。ピッグトレース(安全な食品生産を実現するため、優れた生産管理を導入していること)、ピッグケア(動物福祉と家畜の健康に配慮していること)、ピッグトレース(豚に影響を及ぼす健康問題を迅速に追跡できるよう、業界主導で開発したトレーサビリティ制度)の基準を設けることで、最高水準の品質を維持するという生産者の強い責任と姿勢を示している。

また、こうした市場ニーズに適した規格、品質重視の姿勢に加えて、政治的に安定した国で生産されているということも大きな長所だと考えている。日本とカナダは長期間の友好的なパートナーシップを構築しており、政治的なリスクに左右されない安定した供給が可能となっている。

ASF対策プログラムの整備にも注力しており、バイオセキュリティ対策は継続的に改善している。ま

た、さまざまな企業が新しい豚肉生産技術を開発し、電子給餌、豚舎環境・栄養・健康などのデータを一元管理するシステムなどの導入も進んでいる。

セミナーの後は、公益社団法人全国食肉学校の佐俣宏紀審査役によるカットイングデモンストレーションを実施。佐俣講師は、ブロック肉やステーキカットでの販売が主流のカナダと、しゃぶしゃぶ、すき焼き、焼き肉などのスライス、薄切りがメインの日本式スタイルとの違いを解説しながら、部分肉の小割り・整形を披露した。終了後は、カナダパビリオンの見学ツアーを行い、懇親会に。在名古屋カナダ領事館のデイヴィッド・パデュエ領事の乾杯のあいさつの後、カナダポークを用いた多彩な料理が供され、歓談に移った。

【JCA・8月】豚肉、鶏肉好調も牛肉、加工品の動き鈍く1・6%増

日本チェーンストア協会がこのほどにまとめた販売統計速報によると、8月の食料品合計販売金額は7979億2230万円(既存店ベースの前年同月比1・5%増)だった。そのような中、畜産品の売り上げは871億4234万円(1・6%)だった。豚肉、鶏肉の動きは良かったものの、牛肉の動きは鈍かった。鶏卵の動きは良かったが、ハム・ソーセージの動きは鈍かった。

総菜は1103億4348万円(4・0%増)で、温総菜は天ぷら、フライ、から揚げ、焼き魚、焼き鳥、中華、ピザなどの動きは良かったが、オードブル、スナックの動きは鈍かった。要冷総菜は、和洋総菜共にまずまずの動きで、米飯、すしの動きも良かった。

その他の食品(1・3%増)は、米、乳製品、乳飲料、冷凍食品、アイスクリーム、菓子パン、涼味麺、

らっきょう、納豆、昆布加工品、半生菓子、ビスケット、インスタントコーヒー、キャンディーなどの動きは良かったが、水、飲料、ヨーグルト、乳酸菌飲料、乾麺、食パン、レトルト、カップ麺、パスタ、シリアル、練り物、缶詰、食用油、デザート、スナック、米菓、リキュール、ビールなどの動きは鈍かった。

農産品(前年並み)は、なす、ミニトマト、フルーツトマト、さつまいも、枝豆、オクラ、しょうが、カット野菜などの動きはまずまずだったが、じゃがいも、トマト、玉ねぎ、キャベツ、レタス、大根、とうもろこし、ブロッコリーなどの動きは鈍かった。果物では、すいか、桃、ぶどう、バナナ、キウイフルーツ、カットフルーツなどの動きは良かったが、梨、メロンなどの動きは鈍かった。

クウェート向け日本産牛肉の輸出解禁—農水省

農水省と厚労省はクウェート当局と日本産牛肉の輸出条件について合意したことを発表した。これにより

今後、輸出条件を満たすことが確認できた施設から順次輸出が開始される。

【関東の輸入豚肉現物相場】Cは中部位良化、Fはスソ物に引き合い

【フローズン】引き続き在庫水準は高いものの、ようやく厳しかった残暑も一段落したことで、秋冬向けの需要も強まってきている。ひき材用の需要も高まっており、スソ物を中心に堅調な荷動きをみせている。一方、ロイン系やベリーなどの中部位はそれほど芳しくない。

【チルド】秋らしい気候となったことで、ベリーやロインといった中部位の荷動きは良化傾向にある。ピクニックなどのアイテムについても堅調に推移している。来月以降はバーベキュー向けの焼き材や本格的な鍋物提案も増えてくるか。

【輸入豚肉現物相場】(関東中間冷蔵庫渡し)

		キロ/円、税抜き		
輸入元	部位	相場	気配	
フローズン	米国産	クッションミート	730中心	→
		テンダーロイン	840中心	→
	カナダ産	ショート・ボックス	790中心	↗
		ウデ	770中心	↗
		モモ	780中心	↗
	デンマーク産	ベリー	930中心	→
		カラー	880中心	→
		ロインMM	860中心	→
		テンダーロイン	860中心	→
	フランス産	シートベリー	920中心	→
カタロース		880中心	→	
チルド	米国産	ロイン(FLOIN)	780中心	→
		CCロイン	780中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
		山付ベリー	1,250中心	→
	カナダ産	ボックス	830中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
	ベリー	1,210中心	→	

【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともに引き続きスソ物中心

今週に入って一気に秋らしい気候となっており、朝晩には肌寒さも感じられるようになってきた。量販店などの売り場では、これまでの猛暑によって難しい状況にあった、鍋物商材等、秋冬向けの提案が目立つようになってきた。特にスソ物は引き続き堅調な需要が継続しており、バラやカタロースといったアイテムの引き合いも強まっている。

フローズンも引き続きウデやモモといったスソ物を中心に全体的な荷動きは堅調に推移している。気温も下がり、徐々に出荷頭数が増えていること

で、豚価は軟調に推移しており、凍結回しとなるケースもみられる。

関東の国産豚カット肉相場

生鮮物		冷凍物	
部位	相場	部位	相場
カタロース	1,050~1,150	カタロース	970~1,000
ウデ	800~850	ウデ	750~780
ロース	1,050~1,080	ロース	940~980
バラ	1,100~1,200	バラ	980~1,030
モモ	800~850	モモ	750~780
ヒレ	1,000~1,050	ヒレ	930~960

ビッグボーイ、3日間限定で「9月の29(肉)の日」を開催

(株)ビッグボーイジャパン(東京都港区、平山賢太郎社長)が展開するハンバーグ&ステーキレストラン「ビッグボーイ」「ヴィクトリアステーション」は、28~30日の3日間限定で、「9月の29(肉)の日」を開催する。

同店は毎月29日に合わせてお得にステーキを楽しめる「29(肉)の日」を開催し、好評を博している。今月の特別メニュー「厚切りみずじステーキのトリプルグ

リル プレミアムセット付」(税込み3221円)は、赤身の割合が多くさっぱりとした味わいのミスジを厚切りにカットしたミスジステーキ(150g)と、直火で皮をパリッと焼いた香ばしいグリルチキン(100g)、ジューシーな手ごねハンバーグ(100g)を同時に堪能できる商品。プレミアムセット付きで、厳選サラダバーやスープバー、国産米を100%使用したライスバー、カレーバーも一緒に楽しめる内容となっている。

【輸入牛現物相場】品薄解消も荷動き鈍化、今後は相場上昇か

豪州産チルドはまとまって通関が切れたこともあり、スソ物やロインなどの品薄感が解消。一方で品薄感が解消されると荷動きが鈍る懸念が強い。末端販売が好調でないことがうかがえ、「売れてはいいが、在庫をしっかりとっておきたい」という需要であったことが分かる。

年末に向けた現地買い付けでは、さらに10~15%程度高い相場となっている。これがそのまま売価に反

映されてくるかは不透明だが、実需と相場高によって買い付けを抑えている企業も多く、モモ系など今後需要が高まってくる商品は今のうちにチルフロで取引しておくという場面が増えそうだ。

米国产チルドは引き続きチャックアイロールに引き合いがあり、在庫もタイト。ショートプレートは現地での仕入価格が上昇しており、相場は今後上昇していく気配。

フローズンは、豪州産ではひき材中心の引き合いで、その他は弱い。米国产はショープレで一定の動きがある。チャックアイロールは数が少なく相場が立たず。

		グラス	ショートグレイン
豪州産C	トップサイド	1,250 ~ 1,350	1,350 ~ 1,480
	シックフランク	1,300 ~ 1,450	1,330 ~ 1,500
	アウトサイド	1,280 ~ 1,350	1,350 ~ 1,400
	ポイント	1,250 ~ 1,350	1,300 ~ 1,450
	ナーベル	1,100 ~ 1,150	1,200 ~ 1,250
	ランブ	1,600 ~ 1,650	1,650 ~ 1,950
	クロッド	1,250 ~ 1,380	1,300 ~ 1,450
	チャックロール	1,400 ~ 1,450	1,480 ~ 1,600
	チャックテンダー	1,400 ~ 1,500	1,450 ~ 1,600
	キューブロール	2,900 ~ 3,500	3,500 ~ 4,500
豪州産F	ストリップロイン	2,300 ~ 2,400	2,450 ~ 2,650
	テンダーロイン	4,100 ~ 4,400	4,500 ~ 5,000
豪州産	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	1,280 ~ 1,350	-
	ナーベル	1,050 ~ 1,150	-
	カウミート	1,050 ~ 1,200	-
	トップサイド	1,250 ~ 1,350	-
F	シックフランク	-	-

		チルド	フローズン
米国产	スクウェアカットチャック	-	-
	ショルダークロッド	1,650 ~ 1,750	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,050 ~ 1,250	950 ~ 1,050
	ボンレスショートリブ(チョイ)	5,850 ~ 6,000	-
	ボンインショートリブ	-	-
	チャックリブ(チョイス)	2,400 ~ 2,850	2,300 ~ 2,400
	ストリップロイン(チョイス)	4,000 ~ 4,500	-
	リブアイロール(リップオン)	5,000 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,200 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
産	チャックアイロール(チョイ)	2,200 ~ 2,500	-
	同(プライム)	2,400 ~ 2,600	-

【ブロイラー市中現物相場】国産生鮮モモ、輸入物とも需要期向け先高観

◇国産物 日経加重平均の東京相場は、生鮮モモがやや軟調に推移し、750円を下回った。生鮮ムネは570円前後で高止まりが続く。全国的に朝夕は涼しさが感じられるなど気候はようやく秋本番で、モモについては煮物、揚げ物などの用途で需要が伸び、10月に向けジリ高に転じる。

◇輸入物 現地での価格高騰などを背景に、世界的な需要量が多いブラジル産モモ正肉がやや値を上げた。ブラジル産カット物についても先高観が出ている。日本国内

は需要期の秋冬シーズンだが、ブラジル産、タイ産とも10月の輸入量は前年を下回る見通しで、下げの要因は少ない。

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	620~670
ムネ正肉(〃)	410~490
手羽モト(〃)	290~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

米国産モモ正肉(240gUP)	460中心
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	550~570
ブラジル産モモ正肉	450~470
ブラジル産モモ角切り	450~470
ブラジル産皮なしモモ正肉	470中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	430~450
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	480~490
タイ産モモ角切り(25~30g)	480~490
米国産モモ串	玉なし

と畜場名簿④

と畜場名簿

(令和7年4月1日現在)

Main table listing slaughterhouses with columns for prefecture, name, type, address, and dates.

獣畜の種類別と畜場数(令和6年度実績)

Summary table for slaughterhouse counts by animal type: 牛 (124), 馬 (31), 豚 (127), めん羊 (33), 山羊 (29).

設置別と畜場数(令和7年4月1日現在)

Summary table for slaughterhouse counts by installation type: 一般 (167), 簡易 (8), 総数 (175).

Summary table for slaughterhouse counts by prefecture: 国・都道府県 (10), 市町村 (47), 会社 (85), 組合・その他 (33), 総数 (175).

(注) 複数の獣畜を処理していると畜場の場合は、複数の獣畜に計上(延べ数)

資料：厚労省

と畜場名簿⑤

と畜場名簿

(令和7年4月1日現在)

北海道	株式会社道央養鶏食鳥処理場	成鶏	千歳市駒里229番地	1992	3	5,000羽/日
北海道	旭川ニート(株) 深川工場	成鶏	北海道深川市納内町字納内417-2	1992	3	150万羽/年
北海道	プライアーズ株式会社北海道伊達工場	ブロイラー	北海道伊達市北黄金町123-30	1992	4	9,000,000羽/年
北海道	日本ホワイトファーム(株) 知床食品工場	ブロイラー	北海道網走市字葉琴230番地4	1992	3	900万羽/年
北海道	日本ホワイトファーム株式会社札幌食品工場	ブロイラー	北海道勇払郡厚真町字厚和75-3	2022	7	約50,000羽/日
北海道	(株)中札内若どり	ブロイラー	北海道河西郡中札内村元内東2線51番地	2013	8	2,100羽/時
北海道	株式会社中央食鶏	ブロイラー	三笠市本町4番地1	1992	3	15000羽/日 休止中
青森県	日本トクワ(株) 備前北食品工場	ブロイラー	上北郡横浜町字林原102-100	1994	6	880万羽/年
青森県	備前部繁孝商店子工場	ブロイラー	三戸郡田子町大字田子字舞手10	1992	3	800万羽/年
青森県	備前部繁孝商店五戸工場	ブロイラー	三戸郡五戸町大字藤田字家ノ向17-1	1992	3	720万羽/年
青森県	フワーズ(株) 備前谷工場	ブロイラー	三沢市大字三沢字津代平116-3013	1992	3	440万羽/年
青森県	樹クワーズ 青森工場	成鶏	十和田市大字三本木字野崎1	2014	5	450万羽/年
青森県	樹石澤産業	成鶏	三戸郡階上町大字道仏字笠畑53	1993	3	30万羽/年
岩手県	株式会社十文字チキンカンパンニ久慈工場	ブロイラー	岩手県久慈市小久慈町第63地割16番地1	2017	10	25,024,000羽/年
岩手県	株式会社PJニ戸アーズ	ブロイラー	岩手県二戸市仁左平字大段12番地3	1992	10	7,152,000羽/年
岩手県	株式会社十文字チキンカンパンニ八幡平工場	ブロイラー	岩手県八幡平市平笠第19地割50番地2号	1992	2	11,760,000羽/年
岩手県	株式会社アマタケ大船渡工場	ブロイラー	岩手県大船渡市盛町字二本杵5番地	1992	3	8,400,000羽/年
岩手県	住田アーズ株式会社食鶏処理工場	ブロイラー	岩手県気仙郡住田町世田米字火石5番地1	2008	4	6,757,000羽/年
岩手県	株式会社阿部繁孝商店九戸工場	ブロイラー	岩手県九戸郡九戸村大字長興寺第5地割138番地	1992	3	7,695,000羽/年
岩手県	株式会社オヤマ	ブロイラー	岩手県一関市室根町折壁字愛岩下161番地	1992	3	7,500,000羽/年
岩手県	株式会社オヤマ製氷工場	ブロイラー	岩手県一関市室根町折壁字愛岩下65番地	2025	3	21,200,000羽/年
岩手県	株式会社オヤマ藤沢工場	ブロイラー	岩手県一関市藤沢町黄海字八景下80番地3	1992	3	3,000,000羽/年
岩手県	株式会社フレッシュキョウキョウ	ブロイラー	岩手県九戸郡軽米町大字円子第2地割276番地31	2012	4	4,416,000羽/年
岩手県	プライアーズ株式会社軽米工場	ブロイラー	岩手県九戸郡軽米町大字上館第20地割字横井内1番地2	1992	3	5,760,000羽/年
岩手県	株式会社甘竹田野畑	その他	岩手県下閉伊郡田野畑村室場24番地4号	1992	3	499,000羽/年
盛岡市	株式会社ジャパンファーム 盛岡工場	ブロイラー	盛岡市好摩字中塚3番地3	2000	3	4,450,000羽/年
宮城県	株式会社ウェルファームフーズ宮城事業所	ブロイラー	宮城県遠田郡涌谷町字尾切5番8	2024	5	40,000羽/日
福島県	東北ブロイラー地鶏加工販売株式会社	ブロイラー	福島県本宮市仁井田落合3-2	1992	3	118万羽/年
茨城県	(株) 埼玉食鳥	成鶏	猿島郡埴町内門655	1992	4	20,000羽/日
茨城県	(株) 三和食鶏	成鶏	古河市長左衛門新田889	1992	4	24,000羽/日
茨城県	(株) 高井産業	成鶏	結城郡八千代町平塚4534-3	1993	4	20,000羽/日
茨城県	エスファクトリー千葉(株)	ブロイラー	桜川市水戸210	1992	4	13,600羽/日
群馬県	群馬鶏養鶏処理加工協同組合	成鶏	伊勢崎市茂呂南町4463	1992	3	25000(羽/日)
群馬県	群馬鶏チキンファーズ(株)	ブロイラー	北群馬郡吉岡町漆原2500	1992	3	20000(羽/日)
高崎市	株式会社 朝ひき若鶏	ブロイラー	群馬県高崎市神戸町359番地1	2015	3	13,300羽/日
高崎市	株式会社ヤマシヨウファーズ 群馬工場	成鶏	群馬県高崎市中泉町796番地1	2005	3	18,000羽/日

資料：厚労省

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 9月25日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 126頭	高値	3,469	2,702	2,056	-	-
		安値	2,165	2,119	2,012	-	-
		平均	2,587	2,220	2,039	-	-
		頭数	96	27	3	-	-
	雌 B -頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 A 176頭	高値	3,186	2,330	2,081	-	-
		安値	2,110	2,053	1,944	-	-
		平均	2,522	2,193	2,050	-	-
		頭数	125	41	10	-	-
去 B 1頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,108	-	-	-	
	頭数	-	1	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 19頭	平均	-	1,700	1,560	1,355	-
		頭数	-	3	9	7	-
	雌 C 3頭	平均	-	-	1,445	1,323	-
		頭数	-	-	1	2	-
	去 B 12頭	平均	-	1,764	1,701	1,430	-
		頭数	-	4	4	4	-
去 C 1頭	平均	-	-	-	1,365	-	
	頭数	-	-	-	1	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	411 421	997 991	- 92.5	(競り)	(相対)	
				-	8	68

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,614	1,967	1,490	1,533	-
	B	-	-	1,445	1,389	1,219
和 去	A	2,419	2,090	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	1,031
	C	-	-	-	-	1,004
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	1,341	1,348	-
	C	-	-	-	545	-
交 去	B	-	-	-	1,388	-
	C	-	-	-	-	545

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	667	778	649	644	619
	安値	607	583	553	470	270
	平均	648	608	594	568	529
	頭数	(6)	(354)	(386)	(124)	(121)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	572
	安値	-	-	-	-	572
	平均	-	-	-	-	572
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(8)

[大阪食肉卸売市場] 9月25日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,353	2,032	1,655	-	-
(頭数)	(11)	(8)	(2)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,406	1,877	1,803	-	-
(頭数)	(7)	(6)	(1)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	-	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	-	-	-	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	-	839	591	481

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	9月25日	9月24日	(9月累計)
豚	68,500	70,500	1,073,900
成牛計	4,190	4,590	74,800
和牛雌	1,080	1,340	18,340
和牛去勢	1,080	1,220	19,320
乳牛雌	1,000	710	12,430
乳牛去勢	340	520	7,430
交雑雌	330	370	8,180
交雑去	360	410	8,910

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 9月25日

	1,526円	(前日 1,496円)
東京		
大阪	1,567円	(前日 1,508円)

[豚・全農建値] 9月25日

上	中	取引頭数	市況
608円	589円	969頭	弱もちあい

と畜 売買	牛 63頭 牛 84頭	豚 105頭 豚 80頭	牛概況 豚概況	もちあい まぢまち
----------	----------------	-----------------	------------	--------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 9月25日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	670 (670)	- (-)	6,275	-	もちあい
仙台 [中]	567 (569)	509 (530)	348	79	軟調
栃木 [地]	578 (597)	556 (562)	1,632	50	下押し
茨城 [地]	606 (604)	573 (569)	1,313	871	もちあい
群馬 [地]	590 (577)	467 (488)	2,403	463	反発
さいたま [中]	598 (602)	585 (586)	277	277	弱もちあい
東京 [中]	608 (619)	594 (598)	997	991	急反落
横浜 [中]	618 (610)	588 (586)	636	600	上伸
山梨 [地]	641 (736)	636 (696)	215	184	急落
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	646 (684)	597 (603)	968	253	続落
京都 [中]	721 (-)	673 (-)	77	114	もちあい
大阪 [中]	- (767)	839 (1,140)	105	46	-
神戸 [中]	665 (809)	656 (762)	47	128	下押し
岡山 [地]	757 (742)	698 (714)	317	359	強気配
広島 [中]	- (691)	- (655)	350	31	-
福岡 [中]	640 (657)	605 (613)	459	198	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 9月18日～9月24日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,484,737 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,203	1,346	1,426	1,322	77,842
うで	796	852	906	846	114,683
ロース	1,148	1,350	1,390	1,308	143,906
ばら	1,264	1,356	1,447	1,367	141,963
もも	797	849	895	843	164,789
ヒレ	1,089	1,326	1,351	1,284	13,734
セット	1,038	1,105	1,140	1,104	827,820

◇近畿圏 総重量 653,163 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,393	1,435	1,497	1,440	54,302
うで	740	820	896	821	109,674
ロース	1,190	1,296	1,375	1,295	81,615
ばら	1,359	1,393	1,426	1,392	110,684
もも	769	802	868	813	146,452
ヒレ	1,293	1,404	1,513	1,383	10,272
セット	1,030	1,111	1,205	1,098	140,164

[食鳥正肉日経相場] 9月24日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	674	758	1,030	4
ムネ	522	557	657	7

[農水省統計情報部食鳥市況] 9月22日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,031	795	550	600	650
安値	650	532	290	360	350
平均	772	589	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します